



議員 孝一 師 圖

コミュニティバスの運行改善を

町長 総合的に判断して見直していきたい

問 高齢者の運転操作ミスによる交通事故等が問題になっており、免許返納が進んでいるなか、公共性のある交通機関が少ない我が町についてどう思っているのかお伺いします。

答 免許返納者に対してはコミュニティバスの回数券1000回分とタクシー初乗り券15回分を進呈しています。

問 現在のコミュニティバスでは対応しきれないと思われる。またバスの外装も、もっと判りやすいデザインに変更してみてもどうでしょうか。

答 バスのデザインや運行回数については検討したいと思っています。

問 町外に行けるバスのパス券の補助ができないかお伺いします。

答 バスのパス券については現在考えていません。コミュニティバスについては総合的に見直していきます。

問 高齢者宅のゴミ出しについてですが、集積所まで距離があり持っていくのに辛い現状があると聞きます。コミュニティバスとゴミ収集を組み合わせたシステムができないか、町長の見解をお伺いします。

答 各家庭までゴミの収集に行くのは困難です。お年寄りには健康のためにも外に出て運動も兼ねて持っていくことをお願いしたいが、改良点はあると思うので検討したいと思います。



問 年金生活者に対する支援について、現物支給（味噌、醤油、食料油、砂糖、塩等）ができないかお伺いします。

答 生活が苦しい方には生活保護制度がありますが、現時点では現物支給の考えはありません。

問 上新田の中心にある一丁田橋は築60数年になり、狭く見通しも悪い、通学路としては非常に危険であると感じています。また大規模地震に耐えられるかどうか不安です。ぜひ架け替え工事を検討していただきたい。

答 地元住民の要望は受け止めています。ただ道路が県道であり、町としても要望はしていますが、県のほうからは今のところ何の回答もありません。

問 近年開通した同じ一丁田の流鏑馬橋同様、住民の一致団結した陳情活動を現在準備中であり、町としても要望はしていますが、町長の見解をお伺いします。

答 協力してやっていきたいと思っています。

問 昨年の台風被害で復旧に時間がかかっているのはなぜですか。

答 平伊倉交差点近くと、新田原飛行場東側については復旧が遅れており住民の皆さんには大変ご不便をおかけしています。原因の一つに現場が県道であるためと、災害復旧マニュアルに沿って行っているのが、根気よく陳情していくしかないのが現状です。ただし今年度中の工事着工、完了予定になっております。





下村 豊 議員

障害者チャレンジ雇用

町長 民間企業就労
につなげる

問 消費税引き上げが直前に迫ったが、準備状況をお聞かせください。

答 プレミアム商品券については、7月末に対象者へ、商品券購入引換券交付申請書を発送し、現在申請受付中です。幼児教育の無償化については、制度の周知を図るためリーフレットの配布を行いました。幼稚園の預かり保育を利用する保護者には8月上旬に案内書と申請書を通知しました。



問 チャレンジ雇用の制度は、障害者を自治体で1年から3年間雇用して民間企業への就労につなげる制度であります。県内自治体で初めてですが、就労状況等に課題はないのか伺います。

答 現在2名の障害者を臨時職員として任用していて、総務課で印刷、文書発送、郵便物、データ入力等行っています。今後の取り組みとして、企業への円滑な就職のため業務内容や作業方法、指導方法の検証を行い能力の向上に資するよう努めなければならぬと考えています。

問 テゲバジャーロ宮崎の状況を伺います。

答 町による造成工事が完了、今後は相手方によるスタンドとピッチの建設が順次進められる予定です。当初来年3月の完成時期が7月〜10月程度にずれ込むと聞き及んでいます。現在は鉄骨等の建築資材を発注中とのこと。今年の日程が約3分の2終了時点で、一試合当たりの平均観客数は1030名という状況です。



問 台風接近等で避難所への避難者は、食糧、飲料水、タオルケット等を持って行くよう連絡がありますが、もっと身軽で行けないのでしょうか。

答 避難所の運営で大切なことは、命を守ること、避難所運営の指針を検討中です。



問 町有施設の改善について、

①きらり正面玄関における歩行困難者等への配慮は。②役場庁舎玄関横の思いやり駐車場の雨天対策は。③富田浜流れるプールの更衣室改善。④富田浜漕艇庫の漕艇の運搬手段改善をそれぞれ伺います。

答 ①②はどのような方法が合理的か検討します。③は建設から40年経過し全体的に老朽化が進んでおり、総合的な整備計画が必要と考えています。④は運搬台車を修繕し、使いやすいよう改善します。



吉田憲市 議員

日本の食料自給率 37%をどう思うか

長 国に対しより一層の
町 対策を求めていく

問 日本の食料自給率が37%を町長はどう捉えているのか伺います。

答 2018年度の自給率がカロリーベースで37%と過去最低になったことについては大変憂慮すべきことと認識しており、国に対し食糧安全保障を確立するための対策を、より一層求めていかなければならないと考えております。

問 地球温暖化に向けた新規作物の導入について伺います。

答 温暖化が作物に及ぼす効果や影響を考慮しながら農薬改良普及センター等の関係機関と連携して取り組んでまいります。

問 台風災害による被害果実および規格外甘藷の商品開発について伺います。

答 この案件につきましては今後6次産業化の推進と合わせて取り組まなければならぬ課題であると認識しております。

問 高齢化に向けた農業政策について伺います。

答 新規就農者や農業後継者の確保育成を図るとともに高齢になっても作付けしやすい作物の導入などについて調査研究していきたい。

問 南海トラフ地震対策について伺います。

答 南海トラフ地震対策につきましては町の地域防災計画および南海トラフ地震防災対策推進計画に基づき対応している。具体的には緊急指定避難場所等の整備、津波ハザードマップの作成、周知、津波避難訓練等の実施、防災無線等情報伝達手段の整備などがあります。

問 住宅防音工事待機世帯解消後の具体的な町の方針について伺います。

答 待機世帯解消後の対応について、国は第一種区域等の見直しについては地元の声によく耳を傾けつつ丁寧に対応すると説明しておりますので、この説明に沿った対応が行われると考えています。

問 健康長寿に関して、今後の食生活改善への取り組みについて伺います。

答 食生活改善推進員32名の方と連携を取りながら生活習慣病予防、食育地産地消の推進などの乳幼児から高齢者までのすべての年代において食を通して健康づくりに積極的に取り組んでいます。

問 健康長寿を伸ばす対策について伺います。

答 社会の活力の維持向上のため、高齢者をはじめとする意欲ある方々が社会で活躍できるように環境整備、その前提として特に予防健康づくりを強化することが求めらるかと考えております。

問 新教育長の今後の教育方針について伺います。

答 夢を育み確かな力をつける教育の創造を目標に、学校分野では連携型の富田小中学校、小中一貫校の新田学園、上新田学園があり、それぞれの良さを生かして学力の向上や心の教育、健康、体力の充実を図っていきます。読書のまち新富も推進していきます。子どもたちが今と未来に生きるため思いやりを持って多様性を認め合い自分たちとともに道を切り開いていくという意識と力を育てることが大切だと考えています。





松浦美緒 議員

中学生ら応援 英検料助成を

教育長 財源等も考慮 しながら検討

問 英検の資格は、高校、大学の入試活用や、社会の様々な場面で広く求められています。できるだけ多くの子供達が目標をもって検定にチャレンジできればと思っていますが、家庭における経済の格差が教育の格差につながるのではないように英検受験に対し助成する考えはないか伺います。

答 まずは「授業力の向上」を図り、その中でも子ども達が目標をもって検定にチャレンジすることは町としても是非応援したいと思っています。

問 風疹抗体検査の現況について伺います。

答 3年間の事業で対象年齢は41歳から57歳ですが、今年度は41歳から47歳になる男性を対象に8月末に対象者800名に抗体検査及びクーポン券を送付しています。

問 頭シラミ対策について伺います。

答 昨年度発生報告を受けた保育園は1園。学校は毎年1件から3件ほど発生。支援が必要な家庭に関して町が関与しシラミ駆除医薬品「スミスリン」の配布をしています。

問 保育園、学校では集団生活を行っているため一般家庭の子どももシラミの駆除が必要。スミスリンシャンプーが高額なため町からの助成等行う考えはないか伺います。

答 まずは発生したら保護者に対して報告をきちんとするように周知徹底するとともに、その際は十分な配慮を行います。助成等については、財政的なものを

考慮しながら検討していきます。



問 災害時備蓄物資の中に液体ミルク導入の考えはないか伺います。

答 液体ミルクは、昨年8月から日本でも製造販売することができるようになり、今後、保存方法や保存期間等を考慮しながら検討したいと思います。

問 大規模災害時に必要なトイレ、キッチン、ベッドの充実は？

答 避難所生活に必要なものを48時間以内に準備できるようにしていきます。また、トイレに関しては自立型や太陽光発電トイレ等検討していきます。避難所でのストレスを無くすために

も間仕切りやベッド、夏場はエアコン、冬場は暖房等整備することも検討していきます。

問 消防団員の準中型自動車免許に係る助成について伺います。

答 対応が遅かったが本年度、補助金交付要綱を制定しました。町消防団に在籍し免許取得後に5年以上消防団員として活動できる者に対して5分の4、上限16万円を補助。対象者に要望調査を行いました。現在希望者はありませんでした。今後更なる周知により、全ての団員が消防車両を運転できるよう推進していきます。

